

ハースっ #01 こんだ ところ

「色々やってみただけど、どんなサービスがあるかよく分からない…」
そんな声にお応えして、広報担当が各事業所に潜入取材する企画をスタート！
#01の今回は、ハースのはじまりから今に至るまでをご紹介します！



▲ 子ども達と児童指導員スタッフ

ハースの始まりは「高齢者デイサービス」 地域のニーズに寄り添って拡大しています

現在ハースは、通所から訪問まで全12のサービスがありますが、その第一号は高齢者デイサービスの「デイサービスハース」。代表の松田が身内の介護を通じてこの業界に出会い、介護業界をもっと良くしたい！と思ったことが始まりです。

その後、訪問介護や居宅介護などの訪問事業が始まり、地域の方々に親しまれてきました。そんなある時、デイの利用者様から頂いた、「障がい児向け施設は



▲ デイサービス利用者様と看護師スタッフ

作らないの？」の一声で、「必要なサービスを展開したい」が行動軸のハースは一気に加速。

当時は障がいを持つお子さま向けのサービスが少なく、ご家族、特にお母さんが付きっきりでケアをされていたそうです。

障がいを持つ子ども達とご家族のための場所

医療ケアを必要とするお子さま、昼夜問わず介護に追われるお母さん達。外出は容易ではなく、自分のための時間もない。そんなお母さん達に羽根を伸ばす時間を届けたいと、ハース第一号の障がい児デイサービス「チャイルドケアハース」が誕生します。看護師常駐で医療ケアを必要とするお子さまにも手を差し伸べることができるようになりました。その後、姉妹施設を開所し、現在では知的・発達障がいのお子さまも含めて受け入れられる施設が全4施設にまで増え、今年の4月には5施設目の開所も迎えます。

ずっと利用し続けられる安心感を

2020年には新たな取り組みとして、高齢者デイサービスを「生活介護・共生型デイサービス」へリニューアル。ご高齢の方と障がいをお持ちの方が一緒に利用いただける施設へと進化することで、放課後等デイに通っていたお子さまが大きくなったときに、ハースに通い続けていただけるようになります。

一般的に、放課後等デイの利用者様は高校卒業とともに別の施設へ進むこととなります。知らない環境の中で一から関係性を築くことはとても不安でストレスがかかるもの。私たちは少しでもその不安を緩和し、安心して利用し続けられるよう、事業所間の連携も欠かさず行っています。

その後はまだ記憶に新しい訪問看護ステーションと、就労継続支援B型(久遠チョコレート名古屋滝ノ水店)の開所と続き、現在に至ります。



「赤ちゃんからお年寄りまで生活に関わるお手伝い」をコンセプトに、地域の困りごとをワンストップで解消するサービスを提供している私たち。

そんなハースがもっと身近になれるよう、これから少しずつハースの中身を紹介をしていきます！お楽しみに～！

サクサク！！ 管理栄養士のレシピ 春のアスパラガスとチーズの春巻き



【材料】4人分 1人分161kcal
アスパラガス…………… 4本
スライスチーズ…………… 4枚
ハーフベーコン…………… 4枚
春巻きの皮…………… 4枚
水溶き片栗粉…………… 適量
揚げ油…………… 適量

- 1 アスパラガスは皮の硬い根元の部分から長さ半分程度の所でピーラーで皮を剥き、長さ三分の一に切る(下茹でしなくてOK)
- 2 春巻きの皮で、ベーコン、二つ折りにしたスライスチーズ、アスパラガスを包み、水溶き片栗粉で淵を止める
- 3 熱した油できつね色になるまで揚げるか、多めの油で両面揚げ焼きにする

アスパラガスに含まれるアスパラギン酸は疲労回復に効果があると言われています。ベーコンはハムやツナ缶に変えてもおいしく出来上がりますよ！